

市長記者会見記録

日時：2024年12月3日（火）14時00分～14時15分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入りますが、進行につきましては、幹事社の記者様、よろしくお願いいたします。

《川崎市立看護大学大学院について》

【日経（幹事社）】 日経新聞です。

来年の4月に開学する看護大学の大学院、専門的人材を育成して地域包括ケアシステムに資するものということですが、改めて市長の期待をお聞かせ願えますか。

【市長】 四大化したことの意味というのは、今おっしゃっていただいたように、地域包括ケアシステムに資する人材をしっかりと育成することと、これからの高度化する医療、看護というものにしっかりと対応できる人材をしっかりと地域内に供給していくという形であります。そういった意味で、大学院という、より専門性を高めていくというのは、これから非常に求められるところでありまして、そういった意味で大学院をつくるというのは非常に意義があると思っていまして、優秀な人材がさらにこの川崎から生まれるということをすごく期待しております。

【日経（幹事社）】 ありがとうございます。

《健康保険証の新規交付終了について》

【毎日（幹事社）】 ありがとうございます。毎日新聞です。

紙の保険証ですが、新規発行が取りあえず終わったということで、一部で混乱というのか何というのか、伝えられているところはございますが、市の場合はどのような状況という受け止めでしょうか。

【市長】 コールセンターへの問合せが、12月が近づいてきて徐々に問合せが増えてきていると聞いております。正確な件数は不明ですが、通常業務に支障を来すほどではないと聞いております。

【毎日（幹事社）】 現状の受け止めとしては、スムーズにいつているかなという感じなんでしょうか。それとも、高齢者等の中にはやや不安というか、何が実際に不安かというのはなかなか分かりづらい部分もありますけれども、を表明される方もおられるわけですが、その辺への対処というのは、現状十分できているという評価ですか。

【市長】 やはり高齢者のところは、非常に心配な部分があります。丁寧にフォローアップ

できるように行っていきたいと思います。国保加入者、この部分しか私ども市としては把握しておりませんが、現在５５％と、マイナ保険証の利用登録をされている方ですね。ということなので、国保の特徴として、やはり高齢者の方が多いところですので、しっかりと、今ニュース等で丁寧な報道していただいているので、そういったところを報道していただくとともに、丁寧に私どももフォローアップしていきたいと思っております。

【毎日（幹事社）】 では、幹事社、以上です。

《有機フッ素化合物について》

【朝日】 朝日新聞でございます。

有機フッ素化合物、総称PFASの問題なんですけれども、国の調査結果が出たんですが、これまで川崎市は一部の井戸水の調査をしていたと思うんですけれども、全国的に関心が高まっていく中で、市としての今後の対応ですね、独自の健康調査を公費でやっている自治体も出てきたんですけれども、今後の対応について、何かあれば教えていただけますか。

【市長】 基本的に、川崎市の水道は安全ですということであります。PFASの基準を超えているような水道水は、川崎市内では検出されておりませんので。ただ、いわゆる井戸というのは基準を超えているところがあるということですから、それについては、基本的に飲まれることはないとは思っています。

そこを利用されている方などには、当然これまでも注意喚起を促しておりますし、決して、繰り返しになりますけど、飲むようなことがないようにということでもありますので、川崎市内の水道については、飲み水については安全だと、御安心くださいということをお伝えしたいと思います。

【朝日】 ありがとうございます。

《ふるさと納税について》

【神奈川】 神奈川新聞です。

ふるさと納税の年度末の駆け込み需要が見込まれる１２月となりましたけれども、川崎市としては、今年は改めて本腰を入れてというか、対抗策じゃないですけれども、取り組んできて、今の現状と、取り組んできたがゆえに見えたことや、改めて呼びかけたいことなどがありましたら教えてください。

【市長】 これまでも、ふるさと納税の制度の問題点については指摘してきております。ですから、ふるさと納税の本来の趣旨に合った利用をしてくださいということを、改めて市民の皆さんにお願いしたいと思います。

もう、なりふり構ってられないということで、返礼品などを増やしてまいりました。本年４月初めで４００品目だったところ、現在７００品目を超えておりますので、かなり品目数も、返礼品の数も増やしてきました。ポータルサイトの数も増やしてきましたので、その効果もあって、前年同時期と比べまして、１１月までの累計で約８．７億円ということで、前年同時期と比べて１．６倍伸ばしてきております。１２月、ふるさと納税のピークが来るということですので、市外の方に川崎の魅力などについて知ってもらえればありがたいな

と思っております。

【神奈川】 改めて、8.7億円まで行ったことに対して、なりふり構ってられない、市職員の皆さんの努力の結果だと思いますけど、そこは改めて、でも実際のところやっぱりきついなというか。

【市長】 相当職員も頑張ってくれて、市内事業者の皆さんに、これ、ふるさと納税の返礼品にしませんかという呼びかけを相当頑張ってくれているので、4月から11月までで300品目以上増やしているというのは、本当に頑張ってくれてありがたいなと思っています。そういう効果が少しずつ出ているのではないかなと思っていますが、それにしても、ふるさと納税の趣旨を逸脱しているこのものというのは、早く是正されるべきと強く思っております。

【神奈川】 ありがとうございます。

《人事委員会勧告を踏まえた対応について》

【tvk】 テレビ神奈川です。

先日、人事委勧告どおりの給与の引上げが決まったかと思うんですけども、民間も賃上げが叫ばれる中で、給与を民間と基準を合わせていく、かなり財政的には厳しいと思うんですけども、市長の受け止め、必要性などを教えてください。

【市長】 そうですね、これまで30年間、30年ぶりの大幅な増ということになるので、正直言って、私が市長になって11年たちますが、こういうことをほぼ経験したことがないということなので、公民問わずですけども、皆さんが賃上げをしていくと、そういう流れをつくっていくことはすごく大事なことだと思います。

財政的には厳しいということはあるんですけども、ただ、みんながそれを一緒に、同時に動かしていかないと、決して国民全体の賃金が上がらないということもありますし、そういったことをやっていかないと、結果的には税収も上がってこないということでもありますので、正のスパイラルを回していくということは必要なことだと考えております。

【tvk】 ありがとうございます。

《川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例等について》

【読売】 読売新聞です。

来週木曜日12日に、ヘイト条例が可決されて5年を迎えるんですけども、この前、動画を作られたりとか、そして、ずっと審議会もやっていらっしゃいますけれども、でもその中で、いろんな全国各地でヘイトが起こって、川口もずっと問題になっていて、これから川崎市が、多文化共生とか、そういったところでどういう役割を担っていきたいか、そして新たにどういうことをやっていきたいか、5年を受け止めての所感と今後についてお聞かせください。

【市長】 5年たって、川崎市が立法事実となるような行為が行われてということから法律ができ、条例をつくりということをやってきましたけれども、条例の改定もあって、条例に抵触するような明確な行為は行われなくなってきたておりますけれども、一方で、ネット上の

での差別的言動というのがむしろ増えてきているという状況に大変な危機感を持っているところです。こうした状況というのは、私ども担当レベルで他の自治体とも情報共有をしております。こういったところから、特にネットの問題なんかは、一自治体で解決できる問題ではありませんので、必要に応じて他の自治体とも情報共有をしながら、必要であれば国への働きかけなどをしっかり行っていくということが大事だと思っております。

【読売】 川崎市として、全国で結構多文化のまちと認識はされていて、ふれあい館などもあって、今後どういう役割を担いたいとか、そういったところまで何かありましたら。

【市長】 やはり、今年市制100周年でありますけれども、これまでもこれからも多様性が可能性、多様性で発展してきたまちということでありますので、いかなる偏見、差別もしっかりと許さないということを、声を大にして力強く言っていくということが大事だと思っておりますし、そこに市民の皆さんに共感をいただいていると私は信じておりますので、その姿勢を貫き通したいなと思っております。

【読売】 ありがとうございます。

【東京】 東京新聞です。

今の質問に関連して、12月15日に川崎駅前でのヘイト活動の予告が出ているようなんですけれども、このことについて、御存じなかったかもしれないんですけれども、どのように、来ないでくださいというか、求めていく姿勢をちょっとお聞かせいただけますでしょうか。

【市長】 すみません、全く私、情報を把握していないので、ちょっと分からないので、コメントは差し控えたいと思います。

【東京】 ただ、やはり予告はされているけれども、そういうふうなヘイト活動はしないでもらいたいという姿勢には変わりがない。先ほどいかなる差別、偏見も許さないということをおっしゃいましたけれども、それはそういうヘイト活動に対しても、街宣活動に対しても同じであるというか。

【市長】 全ての、そういった条例で規定しているようなことが行われないうにということとは、いつ、いかなる、どの場所でもということです。

【東京】 ありがとうございます。

【司会】 質問は以上でよろしいでしょうか。

《等々力緑地再編整備について》

【朝日】 朝日新聞でございます。

等々力緑地の再編整備で、特別目的会社から工事額の増額の打診があったようなんですけれども、現状、市長としてはどういうふうに受け止めていらっしゃいますでしょうか。

【市長】 率直に言って、額については非常に驚いております。確かに、物価高騰等激しくて、あらゆるものが上がっていることはありますけれども、額が額です。ただ、これは市が試算したものではありませんので、しっかりこれから内容などを精査していきたいと思っております。

【朝日】 今後、特別目的会社側と交渉をしていくというイメージでよろしいですか。

【市長】 交渉というか、まずその金額の妥当性だとか、しっかりと説明もお聞かせ願いたいと思いますし、私たちなりにしっかりと精査していく必要があるので、細かく見ていきたいと思っております。

【朝日】 ありがとうございました。

【司会】 ほかに質問はよろしいでしょうか。

よろしければ、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当